

## 審査基準

評価項目	評価の視点	配点
企画提案内容		
業務理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の目的や内容を十分に理解しているか。</li> <li>・意欲的な提案となっているか。</li> </ul>	10
機能要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画面構成や操作性等、市職員及び事業者がスムーズに利用できるシステムであるか。</li> </ul>	10
導入支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務フローの見直しに対する支援が十分になされる提案となっているか。</li> </ul>	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例規整備に対する支援が十分になされる提案となっているか。</li> </ul>	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアル作成や説明会開催等に対する支援が十分になされる提案となっているか。</li> </ul>	10
障害対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守・サポート体制（障害発生時や操作の間合わせへの対応等）が適切であるか。</li> </ul>	10
独自提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他社との差別化、優位性、セキュリティ対応等、アピールポイントを有しているか。</li> </ul>	10
業務遂行能力等		
業務体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務を実施する上で十分な体制であるか。</li> <li>・進行管理体制は適切であるか。</li> <li>・業務を円滑に実施できるスケジュールであるか。</li> </ul>	10
業務実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務を遂行するために必要な経験や実績を十分に有しているか。</li> </ul>	10
業務経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の式により求める。  <math display="block">\text{評価点} = 10 \text{点} \times \left( \frac{\text{全提案者のうち最も安価な見積額}^{\ast}}{\text{当該提案者が提示する見積額}^{\ast}} \right)</math> </li> <li>ただし、小数点以下は切り捨てる。</li> <li>※見積額…見積書（様式第5号）の①+②の額</li> </ul>	10

100